



芝山小だより



10月号

清瀬市立芝山小学校

校長 寺井 俊敬

<http://www.kiyose.ed.jp/>

読書の風に乗って 読書の風に乗って

～ 芝山小 読書旬間 10月16日～10月27日 ～

副校長 本間 章郎

朝晩は少し涼しくなり、芝生の上を渡る風も入れ変わりました。暑さがおさまり、過ごしやすくなる10月は、学習や運動などにじっくりと取り組むのによい季節です。芝山小の子供たちは、芸術の風、学習の風、運動の風、読書の風と、彩り豊かな風に乗って、元気に過ごしています。

本校では毎週金曜日を「全校読書」として、朝学習の時間に一人一人が自分の読みたい本を手に読書に取り組み、静かな時間が流れています。16日(月)からは、今年度2回目の読書旬間が始まります。「多くの本に親しむことで読書の楽しさを味わい、読書の習慣を付ける。」「友達や先生方の本の紹介を読んだり聞いたりして、読書の幅を広げる。」という目的のもと、期間内は月曜日や木曜日の朝学習でも読書活動を行います。読書記録をカードに記入したり、教員や図書委員会による本の紹介なども行ったりします。

読書活動を通して育まれる力はどのようなものがあるのでしょうか。知識、読解力、語彙力、想像力、表現力、集中力…。これらの力は読書をしているときに子供自身が実感する力もあれば、別の学習機会や生活場面で実感したり生かされたりする力でもあります。

国立青少年教育振興機構が令和3年の8月に公開した「子供の頃の読書活動の効果に関する調査」によると、子供の頃の読書量が多い人は、そうでない人よりも非認知能力などが高い傾向がある、という結果が報告されています。非認知能力とは、点数や指標等で数値化できない力のことで、「意欲」「協調性」「粘り強さ」「コミュニケーション能力」「自己肯定感」などです。「非認知」ですから、明確に測定できないかも知れませんが、自分の目標に向かって努力したり、他者とかわわり合ったりしながら生きていく上で、大切な資質・能力と言えます。

子供たちの中には、読書が好きな子供がいれば、反対にあまり好きではない子供もいます。その理由は様々です。「うちの子はあまり本を読まなくて…、どうしたら読むようになるのか…」と保護者の方からお話を伺うことがあります。保護者の方が思い出の一冊の本を読み聞かせしたり、思い出の一冊の本について語ってあげたりする、というのはいかがでしょうか。

【一冊の本との出会いで、これまでとは少し違う新しい自分になれる。】

子供が「読んでみようかな」と思った時に本がある環境が、読書の習慣化につながるのかも知れません。過ごしやすくなってきたこの頃です。少し時間をつくって、本を読み聞かせしたり、一緒に本を読んだりして、心地よい「読書の風に乗って」みてはいかがでしょうか。

明日の運動会について

いよいよ、明日は運動会です。子供たち一人一人がこれまで頑張ってきた成果を十分に発揮することができるよう、教職員一同、しっかりと支えて参ります。天候による実施方法の計画を改めて以下に示します。

	30日(土)	1日(日)	2日(月)	3日(火)
予定通り実施	運動会(給食なし)	休日	振替休業日	通常授業
30日が雨の場合	休日	運動会(給食なし)	振替休業日	通常授業
30日、1日が雨の場合	休日	午前授業(給食なし)	振替休業日	運動会(給食あり)

※実施できないと判断した場合は、6時45分頃に「清瀬市一斉メール」及び「ホームアンドスクール」でお知らせします。

※土曜日が中止の場合は、学校は休みです。

※日曜日が中止の場合は、学校に登校して、午前授業を行います。そのため、本日、全学年が国語と算数の学習用具を学校に置いて帰りました

※月曜日は、どのような場合でも学校は休みです。